

- 問1 日本の経済規模を拡大、せめて衰退させない（多少の文字の過不足は OK）
- 問2 貧すれば鈍する（馬瘦せて毛長し／窮すれば鈍する も OK）
- 問3 メディアリテラシー
- 問4 筆者は「考える力」を目標達成への技術にとらえ、自らが掲げる目標を、不断に達成し続けるため技術とし、相手が何を求めているか、自分には何が足りないか、その足りない部分を補うには何をすべきか、の三点を考えることで、方向性の違う努力をすることなく、自身の成長、ひいては日本の成長につながるとしている。

【問4の加点ポイント】

- 考える力＝目標達成への技術【2点】
- 考える力＝自らが掲げる目標を、不断に達成し続けるための技術【2点】
  - ・ 相手が何を求めているか【2点】
  - ・ 自分には何が足りないか【2点】
  - ・ その足りない部分を補うには何をすべき【2点】  
→3つの内訳については比較的、幅広く取ってよい。  
しかし例えば「相手」を「大学」「異性」などに限定している場合は1点減
- 方向性の違う努力をすることなく【3点】
- 自身の成長【4点】
- 日本の成長【3点】

要素として文科省などの話をかいてもいいが「筆者はどのような力を」とあり、別にかかなくてもいい、というひっかけ。なんでもかんでも全部まとめたらいいいわけではない。また、書いたら分かるが、150字では文科省のことは文字数的に書けないはずだ。

本当は問4で「考える力」の説明として、「目標達成への技術」や「自らが掲げる目標を、不断に達成し続けるための技術」を書いてない場合は問4だけでなく、テスト全体を無条件0点にしたかったし、する予定だったが、高1生にはあまりにかわいそうなのでやめておいた。俺、やさしい。

遠藤と浜田は客観的な評価を優先する人生ではなく、主観的な満足を優先する生き方を選択した。人生においては、有名で、信用され、福利厚生や、安定性や、給料も高い会社で生きることが重視される。しかし、遠藤は、社会的信用は一気に失われることを損だと覚悟しつつも、自分が面白くない仕事を安定のために優先する人生ではなく、本当に自分のやりたい仕事をする生き方を選択し、浜田は家族との時間を優先する生き方を選択した。

#### 【前提】

・人生と生き方の対比がない→無条件0点

#### 【加点ポイント】

- 人生＝客観的評価【10点 人生に5点、客観的評価に5点】
  - 有名で、信用され、福利厚生や、安定性や、給料も高い会社で生きる【5点】
    - ◇ 「社会人経験」も可。むしろ書いたほうが本当はいい。
  - (失うと) 社会的信用は一気に失われる【5点】
    - ◇ 「再就職も厳しく」は具体的すぎる。加点なし。
    - ◇ 「死刑宣告をされるように」は比喩表現。加点なし。
  - 損(を覚悟の上で捨てるという記述)【5点】
- 生き方＝主観的満足…「主観的」という言葉は本文にないので、これは難しい【10点 生き方に5点、主観的満占到5点】
  - 遠藤 ・自分が面白くない仕事を安定のために優先する人生ではなく、【5点】
    - ◇ 「この仕事をやるために、生まれてきたのではありません」も可
    - ・本当に自分のやりたい仕事をする生き方【5点】
  - 浜田 ・家族との時間を優先する生き方【5点】